

モビリティサービスの強化に向けた 取組状況について

国土交通省 道路局

○ 19箇所に点在していた高速バス停を集約し、鉄道駅とも直結する総合交通ターミナルとなる「バスタ新宿」を整備(H28. 4オープン)

19箇所に点在していた高速バス停を「バスタ新宿」に集約



高速バス、タクシー、鉄道が直結、乗り換えがスムーズに



4F 高速バス乗降場、待合室、インフォメーションカウンター

バスタ新宿(日本最大のバスターミナル)

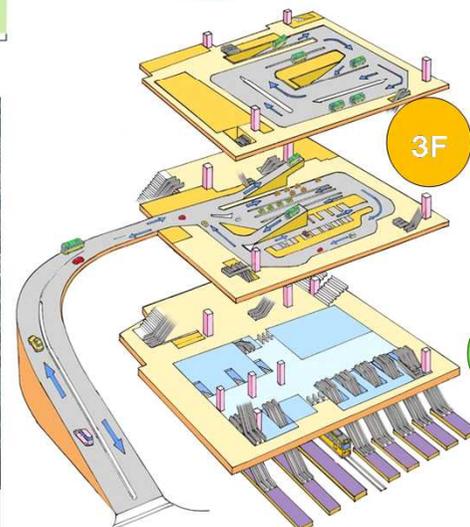


平成28年4月4日(月)オープン 代々木方面

高速バス利用者数:
平均 約2.8万人 最大 約4.1万人

高速バス発着便数:
平均 1,470便/日 最大 1,720便/日

タクシー乗降場、観光情報センター



JR新南改札口



甲州街道(国道20号)

○リニア、鉄道、バス、タクシー、次世代モビリティ等の多様なモビリティを接続する未来型の駅前広場を道路上空に整備

<国道15号・品川駅西口駅前広場の将来の姿>

◆次世代型交通ターミナル◆

- 最先端のモビリティ（自動運転等）の乗降場を集約した次世代モビリティターミナルを配置

◆開発計画と連携した複合（交通・防災）ターミナル◆

- 民間の開発計画と連携し、交通と防災を融合させた複合ターミナルを配置
- タクシー、ツアー系高速バス、次世代モビリティ等の乗り換えを可能に

<交通結節機能>
次世代モビリティ（例）

交通ターミナル

写真：トヨタ自動車・palette
<防災拠点>
輸送拠点

複合ターミナル

写真：バスタ新宿
情報拠点

写真：H28熊本地震/救援物資の保管状況
写真：東日本大震災時の対応

3丁目 新規開発ビル
4丁目開発

至 日本橋
至 磯浜

次世代型交通ターミナル
センターコア
賑わい広場
商業施設
複合ターミナル

J.R. 京急品川駅 (北側)
J.R. 京急品川駅 (南側)

国道15号

◆シンボリックなセンターコア◆

- 利用者動線の交差点には連携の拠点となるセンターコアを配置
- 交通結節の各空間を結びシンボリックな空間を形成

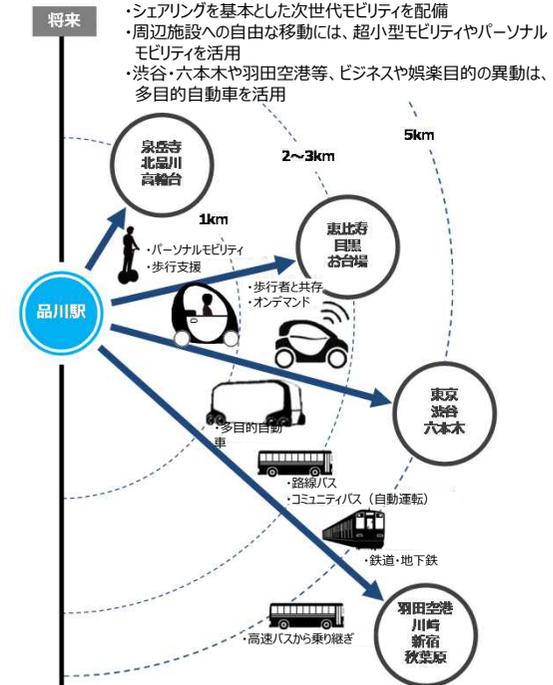
◆人々が集う賑わい広場◆

- センターコアの南側には、人々が集い、憩う賑わい広場空間を配置
- 有事の際には、防災拠点としても活用賑わい空間のイメージ

写真：ソニーセンターベルリン (ドイツ・ベルリン)
写真（上）：ショッピングモール（ルー・ミア・ブカレスト）
写真（下）：ツァイル通り (ドイツ・フランクフルト)

横浜側から見た品川駅西口駅前広場の機能のイメージ
※将来必要となる機能をイメージしたものであり、整備内容を決定したものではありません

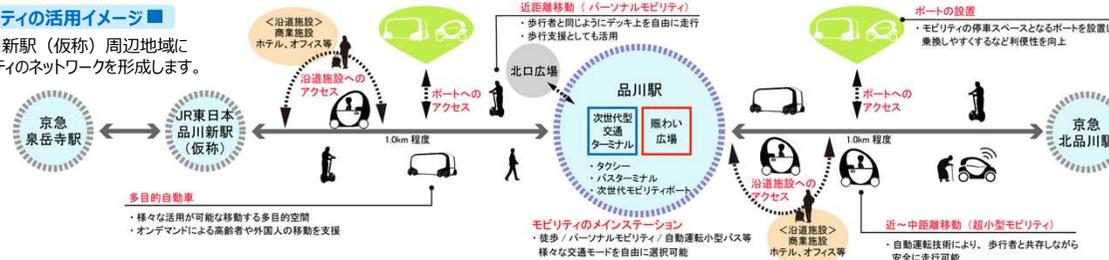
<広域的な交通ネットワーク>



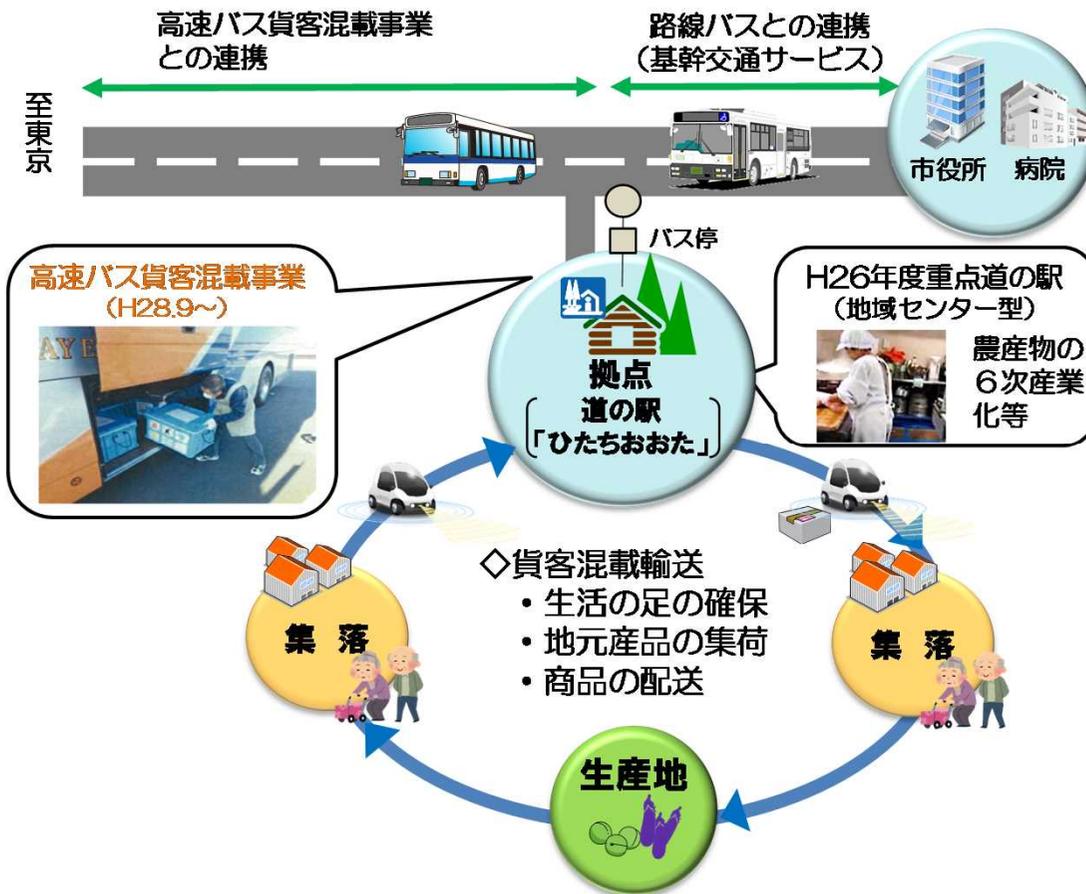
<周辺とのネットワーク>

■次世代モビリティの活用イメージ■

○品川駅と品川新駅（仮称）周辺地域に次世代モビリティのネットワークを形成します。



○行政・福祉サービスの集積が進む道の駅を拠点として、中山間地域の生活の足を確保するための自動運転サービスを、他のモビリティとの接続を含め、実験・実装。



サービスイメージ【道の駅「ひたちおおた」(茨城県常陸太田市)】



一般車両と自動運転車両とが混在した道路空間での走行



高速バス(貨客混載)との連携による農作物の集荷・配送

公募期間：平成30年8月14日（火）～9月25日（火） ※第一次募集



利活用

